

## 感染症について

学校保健安全法及び学校保健安全法施行規則により、表 2 にある感染症に罹患した場合は、出席停止扱いとなります。これは、お子さんに十分な休養を与え早期に治癒させるためと、他者への感染を防ぐためです。この期間中は欠席扱いにはなりません。

医師から感染症と診断された場合は、その旨学校へ連絡してください。

治癒し主治医から登校が許可されましたら、「出席停止解除願」を保護者にご記入の上ご提出ください。医療機関での証明は不要です。

「出席停止解除願」は、学校で登校再開時に渡します。また、ホームページからダウンロードもできます。感染症の種類により用紙が違います（表 1）。ご注意ください。

表 1 （2020 年 6 月時点）

欠席理由	出席停止解除願の種類
インフルエンザ	インフルエンザ用
新型コロナウイルス感染症蔓延防止のための体調不良（発熱等の風邪症状）	新型コロナウイルス感染症用
新型コロナウイルス感染症（陽性者）	新型コロナウイルス感染症（陽性者）用
新型コロナウイルス感染症濃厚接触者	新型コロナウイルス感染症濃厚接触者用
一般感染症（インフルエンザを除く）	一般感染症用（インフルエンザを除く）

表 2

	かんせんしょう しゅるい 感染症の種類	しゅっせきてい し しかん きじゅん 出席停止期間の基準
第一種 だいいっしゅ	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ 出血熱、痘そう、南米出血熱、ペ スト、マールブルグ病、ラッサ熱、 急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリ ア、重症急性呼吸器症候群、 中東呼吸器症候群、特定鳥イン フルエンザ、新型コロナウイルス感染 症	ち ゆ 治癒するまで
第二種 だいにしゅ	インフルエンザ	はっしょう び いつ か けい か げ ね つ のちふつ 発症日から5日を経過し、かつ解熱した後 2 か けい か 日を経過
	ひやくにちげき 百日咳	とくゆう せき しょうしつ また いつ か かん 特有の咳が消失するまで、又は 5 日間の てきせつ こうきん やくりょうほう しゅうりょう 適切な抗菌薬療法が終了するまで
	ましん	げ ね つ のちみつ か けい か 解熱した後 3 日を経過するまで
	りゅうこうせいじ か せん えん 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	じ か せん がっ か せん また ぜっ か せん しゅちょう はつげん 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現 のちいつ か けい か ぜんしんじょうたい りょうこう した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好に なるまで
	ふう 風しん	ほっ しょうしつ 発しんが消失するまで
	すいとう 水痘（みずぼうそう）	すべ ほっ 全ての発しんがかさぶたになるまで
	いんとうけつまくねつ 咽頭結膜熱	はつねつ いんとうえん けつまくえん しゅしょうじょう 発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が しょうたい のちふつ か 消退した後 2 日を経過するまで
	けっかく せんざいせいけっかくかんせんしょう のぞ 結核（潜在性結核感染症を除く）	しょうじょう い し かんせん 症状により医師において感染のおそれがないと
	ずいまくえん きんせいずいまくえん 髄膜炎菌性髄膜炎	みと 認められるまで

第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パ ラチフス		治癒するまで
	腸管出血性大腸菌感染症 （無症状病原体保有者を除く）、流行性角結膜炎、急性 出血性結膜炎		医師において感染のおそれがないと認められる まで
	その他の感 染症（他 にもある）	感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルスなど）	下痢、嘔吐症状が軽減した後、全身状態が 良い
		サルモネラ感染症、カンピロ バクター感染症	下痢が軽減
		マイコプラズマ感染症	症状が改善し、全身状態が良い
		溶連菌感染症	適切な抗菌薬療法開始後 24 時間以内に 他への感染力は消失するため、それ以降